

既指定地域における評価書 <名古屋千種・鶴舞地域(H14.10指定)>

● 評価書

都市再生緊急整備地域名 名古屋千種・鶴舞地域

	上位計画、関連計画の位置づけ	都市再生に係る事業等	都市再生の効果の発現	特記事項
記載事項	<p>【名古屋市総合計画2018】(平成26年10月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○快適な都市環境と自然が調和するまち ○魅力と活気にあふれるまち ○公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりをすすめます 交通施策とまちづくりとの連携 ○次世代産業を育成・支援します 企業誘致・創業等支援 <p>【名古屋市都市計画マスタープラン】(平成23年12月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○めざすべき都市構造 ・駅そば生活圏に位置づけ ○分野別構想(土地類用) (商業・業務系の土地利用) ・都市機能の誘導・強化 ・地域特性を活かした拠点と駅そば生活圏の形成(住居系の土地利用) ・都心居住の促進 ・公共交通を活かした居住空間の形成 	<p>若宮大通の北側の区域では、民間都市再生事業計画認定を受けた商業施設とスポーツ施設がいずれも平成17年に完了している。また、民間による複数の住宅整備、URIによる業務施設整備、民間による介護施設整備が実施され、平成17年～平成19年にかけて完了している。</p> <p>一方、若宮大通の南側の区域では、名古屋大学鶴舞キャンパス再開発事業が平成27年度に第1段階が完了し、第2段階も平成27年に着手し軌道に乗っている状況である。</p> <p>公共施設整備は、道路や公園の整備が完了しており、大学の整備に併せ地区施設が位置づけられている。</p> <p>それ以外に、今後予定されている都市開発事業や公共施設整備はない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人口(地域内) 934人(H17)→1,482人(H27) :約59%増(区全体:約5%増) ・世帯数(地域内) 472世帯(H17)→828世帯(H27) :約75%増(区全体:約11%増) ・地価(地域内) 27.4万円/㎡(H14)→32.3万円/㎡(H28) :約18%上昇(千種区平均:約19%上昇、中区平均:63%上昇、昭和区平均:5%上昇) ・メガロス千種(複合スポーツ施設) 年間利用者数 H17年度…約35万人 H27年度…約45万人 	

項目別評価	<p>「名古屋市総合計画2018」において、公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりや、次世代産業を育成・支援をすることとされている。</p> <p>「名古屋市都市計画マスタープラン」において、駅そば生活圏に位置付けられ、都市機能の誘導・強化や都心居住の促進などを図ることとされている。</p>	<p>都市開発事業や公共施設整備事業が概ね完了し、現在事業中の事業も軌道に乗っている。今後予定されている事業はない。</p>	<p>人口、世帯数、地価において都市再生の効果の発現が認められる。</p>	
総合評価	<p>再開発事業が一部継続中であるが、その他の都市開発事業・公共施設整備は完了しており、整備の目標は概ね達成された。</p> <p>なお、都市再生制度の特例等を活用する事業は予定されていない。</p>		⇒	<p>地域指定を解除</p>

既指定地域における評価書 参考資料 <名古屋千種・鶴舞地域(H14.10指定)>

【総合評価】

再開発事業が一部継続中であるが、その他の都市開発事業・公共施設整備は完了しており、整備の目標は概ね達成された。

なお、都市再生制度の特例等を活用する事業は予定されていない。

⇒ 地域指定を解除

<整備の目標(地域整備方針)>

名古屋市都心部に隣接し地域内外に大学や文化施設が集中するという立地特性を活かし、大規模工場跡地(サッポロビール)や大学キャンパス(名古屋大学)の再整備により、新しい複合都市拠点を形成

○特徴

- ・イオン・メガロス千種(北側)(H17)【商業機能】 (※)民都認定
- ・名古屋医工連携インキュベータ(H17)【イノベーション機能】
- ・分譲マンション(ロイヤルパークス、千種タワーズなど)(H19)【居住機能】

○主な都市再生の効果

- ・人口934人(H17)→1,482人(H27)約59%増(千種・昭和区全体約5%増)
- ・メガロス千種(複合スポーツ施設)年間利用者数 約35万人(H17)
→約45万人(H27)

○主な都市開発事業等

①名古屋大学鶴舞キャンパス再開発事業

